

阿智村事務事業評価シート

事務事業名	ふるさと交流事業	担当者	協働活動推進課	協働活動係
-------	----------	-----	---------	-------

①事務事業の概要

総合計画での位置づけ	5. 持続可能な村、住民が主体の村／協働の推進／連携・交流の推進			
関連する主な計画等				
根拠法				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付	<input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他
事業の対象者	交流に意欲ある団体			
事業開始年	H16	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定

②事務事業の計画(PPLAN)、取組(DO)

実施目的	阿智村の観光活性化のため、阿智村、又屋神温泉へ訪れる人々との交流を推進し、リピーター化をはかるとともに、住民の活力向上と地域の活性化をはかる。				
具体的取組	中京・東海阿智村人会が低調となっていたため、関係者との打合せ会を12月6日名古屋市で開催。阿智村人會に新たな加入者を募るため、高校卒業生名簿等から出身者を拾い出したり、広報あち1月号に関東阿智村人會、中京・東海阿智村人會の情報提供をお願いした。村民が自主的かつ主体的に行う交流事業を支援する、ふるさと交流事業補助金制度を創設(平成28年4月1日施行)した。				
実績・効果	自然体験、農作業体験、平和学習、スポーツ等を通じての交流事業により、入込客の増加と団体相互の理解を深めることができた。				

歳出の内訳 (千円)	項目	金額	項目	金額	項目	金額
		補助金	959			
事業コスト	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	実績額 (千円)	1,110	1,031	959	1,700	1,700
	うち一般財源	1,110	1,031	959	1,700	1,700
	うち補助金					
	うち個人負担					
	従事職員 (人)	正規職員	1	1	1	1
	臨時職員	1	1	1	1	1

③評価(CHECK)

区分	個別判定	判定理由	総合判定	
必要性	住民のニーズは高いか	b	補助金交付団体数は例年ほぼ変わらない	B
	手段、成果は妥当か	a	住民の主体性を引き出す効果がある	
	対象者の設定は妥当か	a	妥当である	
	村の関与は妥当か	a	補助は妥当である	
有効性	期待された効果が得られたか	交流推進が図られた		A
効率性	コストの削減に努めたか	a	事業実績報告により審査している	B
	効率性を高める工夫はされたか	b	補助金交付要綱の見直しを行った	
公平性	受益者負担は適切か	事業費の1/2は申請団体の負担であり適切		A
総合評価	B			

④改善(ACTION)

事業の方向性	継続・維持
課題	交流事業を行うのは従来からの団体に固定していて、新たな団体がない。
今後の取り組み	新たな団体を加えるため、広報活動をする。